

狛江市下水道総合計画策定庁内検討委員会

- **日時** 平成 21 年 5 月 26 日 (火) PM13:30～ 16:30
- **場所** 小田急線高架下 102 会議室／市内 現場
- **委員** 石原委員長（上下水道課長）、山田副委員長（都市整備課長）、高橋委員（財政課長）、斎藤委員（環境管理課長）、松本委員（安心安全課長）
- **議題**
 - (1) 委員会とスケジュール
 - (2) 素案（たたき台）について
 - (3) アンケートについて
 - (4) 現場見学会
- **資料**
 - (1) 議事次第
 - (2) 狛江市下水道総合計画策定体制図
 - (3) 狛江市下水道総合計画策定庁内検討委員会スケジュール（案）
 - (4) 狛江市下水道総合計画（第四次素案）
 - (5) 環境月間アンケート（案）

事務局より開会のあいさつがあり、石原委員長の進行により議事が進行された。

議題 (1) 委員会と今後のスケジュール

事務局より、次の説明があった。

上下水道課所管の狛江市下水道総合計画策定及び再評価委員会（以下、下水道委員会）を立ち上げ、諮問答申という形をとる。環境保全審議会にはこれまでどおり意見照会を求め、意見を出していただく。

今後のスケジュールとして、下水道委員会については、7 月に概要説明、9 月にパブリックコメントの事前説明、10 月にパブリックコメントで出てきた意見の審議、12 月に最終案の審議・完成した後の 2 月に委員長からの答申を考えている。環境保全審議会については、11 月に意見をいただいて、2 月に出来上がったものを報告するという形で考えている。

以上の進め方、スケジュールについて合意を得た。

議題 (2) 第四次素案について

事務局より、次の説明があった。

○短期計画の具体的施策（案）

- 1) 浸水対策

雨水管渠は、まだ 66%までしか整備されていないので、それを 5km 新設したい。

広域浸水被害エリアへの浸水対策としては、世田谷通りに入っている幹線の能力が不足するという計算結果が出ていることを受け、対応として増補管というφ2800mm のバイパス管を入れ流量を増やすことによって対応を図る。

また貯留・浸透施設を設置し、駅北側の浸水を防ぐ計画も進めたい。さらに、流下系統の切り替えを行い、浸水の起こる箇所の方から能力に余裕のあるほうへ、水のルートを変えることで対応を図る。

これらの広域浸水被害エリアへの浸水対策によって、時間 50mm/hr に概ね対応できるものとなる。

2) 合流式下水道の改善

雨水浸透ますの整備は、市からの補助分と民間の整備を合わせて、120 基/年と見込んでいる。

また合流下水は、世田谷通りの世田谷区との境にある雨水吐き室から東京都の流域下水道に流下していくが、一部は野川の方に未処理放流するというのが問題である。この対策としてφ3000mm の貯留管を世田谷区の緑道の中に敷設したいと考えている。敷設には世田谷区との協議が必要であるが、現時点では未調整である。

さらに、流域下水道に流入する水量は、現状はゲートで流量を絞っており、それを引き上げることで下水処理場の方に行く水量を増やしたい。これについては、流域下水道と調整する必要がある。

3) 安全対策上の維持管理

道路陥没の恐れのある取付管の補修を行う。既に本管のテレビカメラでの調査・補修はひと通り終わっており、今年度から取付管の補修を進めている。補修箇所数は今のところの予測である。内面補修ができないものについては、管を布設替えすることになる。

4) 地震対策

緊急度の高い重要路線のマンホールと管渠の接続部の可とう化を、131 箇所予定している。また緊急度の高いマンホールの浮上防止対策を、111 箇所予定している。さらに避難所へのマンホールトイレシステムを、小中学校等の施設に 18 基設置を考えている。

5) 改築・更新

年数が経過していることから、テレビカメラ調査を行っているが、今後とも同じような状態が続くと考え、劣化度が高い管渠に対する約 1.5km/年の更生を想定している。

○中期計画の具体的対策（案）

1) 浸水対策

短期計画に引き続き、雨水管渠を約 5km 新設したい。

2) 水循環としての循環と利用

雨水を貯留するタンクの設置、浸透ます 180 基/年、浸透トレンチ 400m/年を進めていきたい。これらの対策をすることにより、将来的には、元々水が出ていたところの湧水の復活につながると考える。

3) 地震対策

重要路線に対する布設替え 5km/年を実施したい。また、避難所へのマンホールトイレシステムを、短期計画に引き続き、小中学校等の施設に 18 基設置を考えている。

4) 改築・更新

劣化の考えられる路線に対して、短期計画同様の更生を行う。

○長期計画の具体的施策（案）

1) 浸水対策

雨水整備率 100%を目標とする。

2) 水資源としての循環と利用

合流式下水道の改善も兼ねて、中期計画と同様の対策を継続して実施する。

3) 地震対策

重要路線について約 5km/年の布設替えを行い、さらにマンホールと管路の接続部の可とう化、避難所へのマンホールトイレシステムの設置を、短期計画・中期計画同様に実施する。

このような事業に対して、実際に財政的に可能かどうかというシミュレーションを行った結果を複数ケース、資料に記載している。いずれのケースも、一般会計からの繰り入れが必要となることから、どの対策を優先とするか、財政的な面も含め委員の意見を伺いたい。

以上に対する主な質疑応答は、次のとおりである。

<財政シミュレーションについて>

委員：段階的整備計画表の平成 21 年度の事業費総計は、何の費用か。

事務局：現時点で必要な対策量に対してどのぐらい事業費がかかるかを単純に積み上げたものであり、予算ではない。現段階では、平成 19 年度までの決算書調書と平成 20～29 年度の概算事業費に基づいてシミュレーションを行っており、このまま進めると赤字になる傾向を示したものである。

委員：実質収支は、どのように算出したのか。

事務局：段階的整備計画表から、補助対象あるいは単費、国庫補助あるいは市の持ち出し分がどれくらいになるかを割り振った上で、シミュレーションして算出している。平成 20 年度の実質収支 18,701 千円は、特別会計内で黒字（特別会計内で賄える）ということである。これらは、決算書調書の項目にしたがって算出している。

委員：このままではどのパターンでもいずれ赤字になるが、下水道使用料等の条件はどのように考えているのか。

事務局：使用量単価等の条件は、現状から変わらないものとして検討している。今後黒字にするためには、例えば使用料をあげるとか、対策量を減らすとかの対応を考える必要がある。

委員：一般会計が負担可能な範囲を設定した上で、段階的整備計画を検討してはどうか。

委員：本来は、下水道使用料で賄えるはずであるが、一般会計の負担を増やさないと整備が進まないこともある。また平成 21 年度策定であることをふまえて、何年を目標とするのかも調整すべきである。

事務局：今後、最新の財政資料に基づき見直しを図る予定である。また、目標年度についても調整を図っていく。

<対策の内容について>

委員：国との関係で実施しなければいけない内容は何か。

事務局：地震対策については、緊急ということで 5 年以内に進める必要がある。また、合流式下水道の改善については、国から実施を指導されているところである。

委員：雨水浸透ますは、合流改善目的なのか。

事務局：雨水浸透ますは、合流改善も、浸水対策も兼ねている。

委員：財政面から、計画どおり実施するのは難しいのではないか。現実的に財政と調整して決めるべきである。

事務局：予算については、対策量や優先度も含め協議していきたい。

委員：実施の必要性は理解できるが、本当に実施すべき施策が何か明確でない。もう少し明確にしないと、優先順位をつけることが難しい。

事務局：短期計画のうち、浸水対策と合流改善が優先と考えている。

委員：浸水対策を一番はじめに実施し、今すでに浸水しているところを何とかしないといけない。想定外の降雨時に、浸水するのは同じところか。

事務局：基本的に谷のようになっているところで浸水している。

事務局：本日の意見を参考に、財政面から実際に実現可能な計画を検討していくこととする。

議題 (3) 市民アンケートについて

事務局より、次の説明があった。

6 月の環境月間に合わせ、6 月 6 日に市役所市民ひろばにて市の下水道および総合計画等の紹介を市民向けに行う。その際、パネル展示、貯留槽、浸透ます等の展示のほか、来場者へのアンケートを実施する。アンケート素案について意見を頂きたい。

以上に対する主な質疑応答は、次のとおりである。

委員：アンケート対象者は、どう考えているか。対象年齢を絞るのか。

事務局：絞込みは行わないが、対象は大人と考えている。

委員：アンケートは自由回答とすると記入されない傾向がある。選択式にできないか。

委員：総合計画の施策を提示し、どれを優先させたらいいか、どれをやって欲しいかを選択する形式が良いのではないか。自由解答欄は、設ける必要はある。

事務局：選択式の内容を検討する。その結果作成したアンケートは、委員の皆さんへ個別に報告し実施する。

議題（４）その他

次回委員会は、6月17～19日に行う予定で調整する。

議題（５）現場見学

下記4箇所の下水道施設において現場見学会を実施した。

- 狛江市公共下水道ポンプ場
- 岩戸南雨水吐室
- 合流式下水道越流水吐口（野川）
- 分流式下水道雨水管吐口（多摩川・猪方排水樋管）

以上